

(様式第1号別紙)

ものづくり中小企業・リボーン Next 支援事業計画書

1 申請者情報 (★の項目は情報を公表する可能性がある。)

法人名 又は屋号★	(フリガナ)		
代表者職及び 代表者氏名	(フリガナ)		
常時雇用する従業員数	人	資本金の額	円
所在地★ (※1)	〒		
主たる業種		代表電話	
代表メールアドレス			
ホームページ URL			
万博出展時の 出展企業名★			

(※1) 大阪府内に有している本店(住所)又は主たる事業所の所在地を記載すること。

2 担当者情報

担当者役職 及び担当者名	(フリガナ)		
担当者メールアドレス		担当者電話番号	

(※) 担当者が複数人の場合には、適宜行を追加すること。

3 万博で披露した技術等（★の項目は情報を公表する可能性がある。）

出展内容★			
展示機会等★	<input type="checkbox"/> リボンチャレンジ	<input type="checkbox"/> ミライの大阪「中小企業・スタートアップめぐり」	
	<input type="checkbox"/> カーボンニュートラル技術開発・実証事業補助金を活用（令和 年度交付決定）		
	<input type="checkbox"/> バイオプラスチック製品開発支援事業補助金を活用（令和 年度交付決定）		
展示期間★	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日		

4 技術開発計画の概要（★の項目は情報を公表する可能性がある。）

計画名称★	※20文字程度で記載すること。		
現在の開発段階	<input type="checkbox"/> コンセプト段階	<input type="checkbox"/> 開発段階	<input type="checkbox"/> 試作段階（デモ・展示用）
	<input type="checkbox"/> 試作段階（量産化試作）	<input type="checkbox"/> 販売前段階	<input type="checkbox"/> その他（ ）
技術開発の概要★	※100文字程度で記載すること。		

5 技術開発計画の内容

今回の技術開発計画と万博で披露した新技術・サービス等の関連性		
助成事業完了予定期日までに達成をめざす技術開発計画の目標		
助成事業完了予定期日までに達成をめざす開発段階		
<input type="checkbox"/> コンセプト段階	<input type="checkbox"/> 開発段階	<input type="checkbox"/> 試作段階（デモ・展示用）
<input type="checkbox"/> 試作段階（量産化試作）	<input type="checkbox"/> 販売前段階	<input type="checkbox"/> その他（ ）
事業化に向けた予定（助成事業終了後も含む）		
事業化見込：（(西暦) 年頃） ※下欄には事業化見込時期に向けた各年の取組計画を記載すること。		

（※）各行の高さは適宜変更しても良いが、記載内容はこのページ内に収めること。



技術課題の概要や技術開発の具体的取組 (2/2)

※(1) 技術面、(2) 事業化面、(3) モデル性、(4) 実現性、(5) 事業金額とその妥当性といった視点から審査しますので、これらの内容は必ずご記載ください。

(※) 記載内容はこのページ内に収めること。

6 技術開発計画のスケジュール

時期	取組項目（※1）	取組概要
令和8年7月		
令和8年8月		
令和8年9月		
令和8年10月		
令和8年11月		
令和8年12月		
令和9年1月		
令和9年2月		

（※1）「5 技術開発計画の内容」「7 補助対象経費の支出計画」の「取組項目」と記載内容を合致させること。

（※）行は適宜追加・削除すること。

7 補助対象経費の支出計画

区分	細目	取組項目 (※1)	支出内容	①助成対象 経費	②助成金交付 申請額 (①/2 ≧ ②) ※上限 225 万円
技術開発費	開発事業費				
	開発委託費 (※2)				
技術調査費	調査事業費				
事務費	活動費				
	事務費				
	その他				

(※1) 「5 技術開発計画の内容」「6 技術開発計画のスケジュール」の「取組項目」と記載内容を合致させること。

(※2) 開発委託費は、技術開発費の2分の1以内とすること。

(※) 単位は円で記載すること。また、行は適宜追加・削除すること。